

平成27年度

学校評価アンケート 集計結果(6月・12月の比較)

須賀川市立大森小学校

学校についてのアンケート集計方法	【A】は、「はい、とても そう思う」 3 【B】は、「ときどき そう思う」 2 【C】は、「あまり そう思わない」 1 【D】は、「いいえ そう思わない」 0
------------------	--

満足度 = A+Bの全体に占める割合

※ 全員が【A】か【B】を選べば100%、全員が【C】か【D】を選べば0%になります。

番号	項目
<b>進んで学習する子ども</b>	
1	① 勉強や運動が楽しく、進んで学習に取り組み、学習内容がよくわかっている。
	② 先生や友だちの話を聞いたり、自分の思いや考えを伝えたりして高め合っている。
	③ 毎日の家庭学習を進んで行い、自分なりにくふうして取り組んでいる。
	④ 読書が好きで、進んで本を読んでいる。
<b>心も体も健康な子ども(心)</b>	
2	① 先生や友だちは自分をわかってくれて、毎日元気に仲よく学校生活が送れている。
	② 学校では、あいさつや言葉づかい、ルールやマナーなど大切なことを学んでいる。
	③ 学校では、正しい行動や相手を思いやることの大切さを学んでいる。
	④ 学校では、命の大切さを勉強し、自分やまわりのみんなを大切にすることを学んでいる。
<b>心も体も健康な子ども(体)</b>	
3	① 生活の時間を守ったり、ハンカチ・ティッシュを身につけたり、身の回りの整理整頓をすることができている。
	② 栄養のバランスを考え、好き嫌いなく食べたり、朝ご飯をしっかり食べたりしている。
	③ 体を動かすことが好きで、毎日運動に取り組んでいる。
	④ 体育や休み時間・放課後、めあてをもって運動している。
<b>責任をもってやりぬく子ども</b>	
4	① 委員会活動や係活動など、集団活動の中で自分の責任がわかっている。
	② 自分の仕事・役割を最後まで果たせるように努力している。
	③ 言われたことだけでなく、自分で考え進んで行動できるようにしている。
	④ 清掃活動、ボランティア活動などに一生けん命取り組んでいる。
<b>安全・安心な学校</b>	
5	① 学校では、みんなが安心して学校に行くことができるように、いじめなどをゆるさない指導をしている。
	② 学校では、事故やけががないように、校舎や通学路の安全に気をつけたり、声かけをしたりしている。
	③ 火事や地震などの災害や放射能などから身を守る方法がわかっている。
	④ 学校は、不審者(ふしんしゃ)から守ってくれている。不審者から身を守る方法がわかっている。
<b>家庭・地域に開かれた学校</b>	
6	① おたより、れんらく、メールなどで、学校生活の様子を家庭に伝えていると思う。
	② 授業参観や行事などに、家の人はよく来てくれている。
	③ 学校では、家の人や地域の人に協力してもらって勉強や農園活動などを進めている。
	④ 地域を歩いたり、研修バス等で見学をしたりしながら、地域からたくさんのことを学んでいる。



**1 進んで学習する子ども**  
 ○ 教師の評価結果が向上し、学習指導の充実が見取れる。特に伸びが見られるのは②「自分の思いや考えを伝え・高め合う」と③「家庭学習への取り組み」である。②については、現職教育のテーマにある「協同的な学び」の取り組みが成果として実感できてきたものとする。③については、全学年共通の「生活チェック表」を活用し、家庭と連携して継続的な取り組みを進めてきた結果、家庭学習の習慣が定着してきたと考える。  
 ○ ④「読書」に関しては、教師の評価の向上が見られる。さらに、児童の自己評価が伸びるように読書を推進していきたい。

**2 心も体も健康な子ども(心)**  
 ○ 全体的に高い評価ではあるが、教師の評価に対して保護者の評価がやや下回るのが気になる点がある。中でも③「正しい行動・思いやり」と④「命の大切さ・自他の尊重」が課題としてあげられるため、学級経営や学校全体を通して道徳教育のさらなる推進を図ってきたい。  
 ○ <進んで学習する子ども>の④「読書」との関連も図る必要がある。「読み聞かせボランティア」による絵本の読み聞かせ、教職員による読書推進での「私たちの道徳」や「ふくしま道徳教育資料集」の活用などを通して、道徳的な価値について考え、実践に結びつけることができるようにしていきたい。

**3 心も体も健康な子ども(体)**  
 ○ 決して低い評価ではないが、教師・児童の評価が6月と比較してやや下回る結果となった。  
 ○ 教師は①「基本的な生活習慣」が下回った。  
 ○ 児童は④「めあてをもって運動する」が下回った。合奏や鼓笛練習など、休み時間にも取り組む姿が見られたが、外に出て伸び伸びと遊んだり、目当てを決めて運動したりする時間の確保が課題と考える。次年度の教育計画において検討したい。

**4 責任をもってやりぬく子ども**  
 ○ 全体的に高い評価を得ている。  
 ○ 教師の評価で気になるのは、6月から変わらず③「自主性・積極性」が低いことである。本校の子どもたちは与えられた役割に責任をもって取り組もうとする姿勢が窺える。しかし、自分から進んでという場面ではどうしても遠慮がちになってしまう子が多い。引き続き、一人一人の活躍の場を増やし、創意工夫して取り組む活動を増やしていきたい。

**5 安全・安心な学校**  
 ○ 全体的に高い評価を得ている。  
 ○ 児童の自己評価②「事故や怪我の防止」について、やや6月を下回った。  
 ○ 保護者からは、校長の朝の集団登校指導や下校時の引率指導・巡回を高く評価する声が寄せられている。

**6 家庭・地域に開かれた学校**  
 ○ 保護者の評価に対して、児童・教師の評価がやや下回る。  
 ○ 児童は、③「保護者・地域のボランティア講師の活用」が低い。これは、2学期の農園活動でボランティアの活用がなかったことが大きいと考える。今後は、活用を図りたい。  
 ○ 教師は、④「地域素材の活用」が低い。社会科・生活科・総合では学区内での学習活動を進めているが、時間的な偏りや移動時間の確保などが課題である。